

## 警告

本製品をご購入いただきありがとうございます。プレーヤーの機能をご理解いただくためご使用前に本マニュアルをひとつとご覧ください。

※本マニュアルは「日本語表示」状態でのプレーヤー操作を説明しています。他の言語に設定されている場合は、言語選択で日本語に変更してください。なお、本文中で使用されている画面写真は制作の都合上英語版となっております。あらかじめご了承ください。

- ▶高温(40℃以上)になるような場所(夏季の自動車内など)にプレーヤーを放置しないでください。
- ▶湿気やほこりの多い場所、高温になる場所におかないでください。
- ▶液晶が破損すると適切な操作を行えない場合があります。プレーヤーを落としたりしないようにご注意ください。
- ▶聴覚障害を招く恐れがありますので、適切な音量レベルでご利用ください。
- ▶プレーヤーを分解しないでください。
- ▶航空機などの規制区域の中でこのプレーヤーを使用しないでください。
- ▶交通事故防止のため、自動車の運転中は使用しないでください。
- ▶不適切な操作によって発生した損害、またそれに付帯する事項については一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ▶本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

## バッテリーに関する重要事項

このプレーヤーは内蔵リチウムイオン充電電池によって動作します。

プレーヤー充電中は**電源がオン**になっていることを確認してください。プレーヤーの電源がオフになっている場合は充電されません。

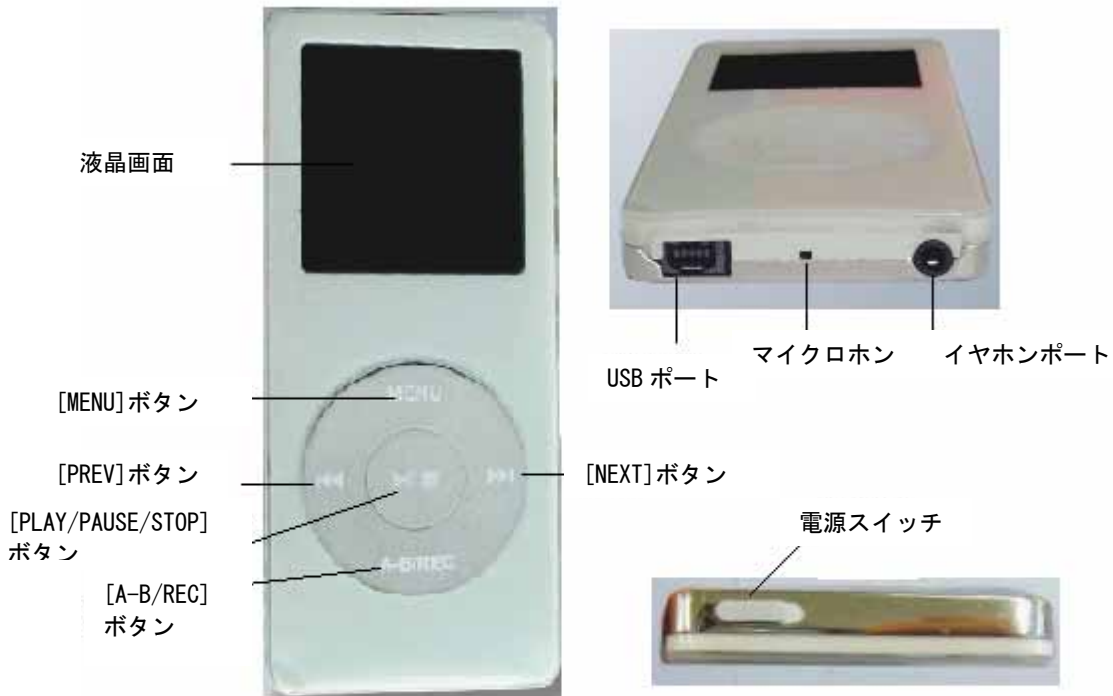
お使いのパソコンによっては USB の給電能力が異なるため、バッテリーの充電時間は 4 時間から 12 時間かかる場合があります。

- バッテリーがフル充電されている状態を表します。
- バッテリーが空になっている状態を表します。再充電の必要があります。

## 特徴

- 音楽再生  
MPEG 1/2/2.5 Layer I/II/III, WMA, WMV, ASF また WAV ファイルによる音楽再生をサポートします。
- 動画再生  
AVI・MOV・RMVB および VOB 形式から変換された専用形式の動画を再生します。
- 音声録音  
内蔵のマイクロホンにより音声をプレーヤーに録音/保存することができます。またプレーヤーに保存された音声ファイル(.WAV または .ACT)を再生・削除することができます。
- 多言語表示対応  
さまざまな言語をきわめて明瞭に表示することができる液晶を搭載しています。またさまざまなスクリーンセーバーを利用することが可能です。
- FM ステレオラジオ (オプション)  
放送局を受信し、保存する機能が可能です。このプレーヤーは日本のラジオ局の周波数をサポートしています。
- 利用可能な 7 つの音響効果 (EQ): ノーマル、ロック、ポップス、クラシック、ソフト、ジャズ、DBB。
- 再生モード: ノーマル、シングル反復、フォルダー再生、フォルダー反復、全曲リピート、シャッフル。
- USB ストレージデバイス -  
プレーヤーを PC に接続すると、リムーバブルメディアデバイスとして使用することができます。Windows 98SE/2000/ME および XP に対応します。
- リムーバブルディスク管理機能  
-同梱されている PC ソフトウェアツールでリムーバブルメディアデバイスとしてパーティションを作成することができます。パーティションにパスワードを設定することによって機密情報を保護することができます。

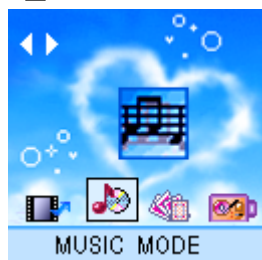
## 外観



## 液晶画面



## メインメニュー



## 音楽モード



## Movie モード



## レコードモード



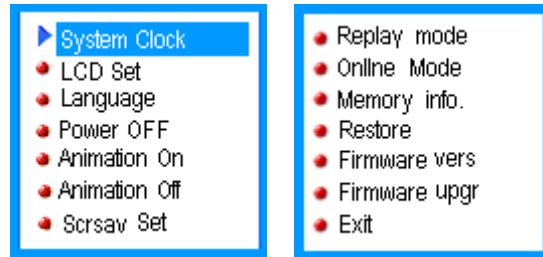
## 声のモード



## ラジオモード (FM ラジオ内蔵モデルのみ)



## システムセッ



## PC 接続中 (USB 接続)



## 使ってみましょう

### ■ プレーヤーの電源オン/オフ

プレーヤーの電源は自動、もしくは手動でもオンにすることができます。

手動でプレーヤーの電源をオンにする/オフにする：

- 電源スイッチを“OFF”から“ON”の位置に切り換えてください。プレーヤーの電源がオンになります。
- 電源スイッチが“ON”位置の状態、[PLAY/STOP]ボタンを3秒間押し続けるとプレーヤーの電源がオンになります。
- 電源がオンの状態で、電源スイッチを“ON”から“OFF”位置に切り換えるか、[PLAY/STOP]ボタンを3秒間押し続けるとプレーヤーの電源がオフになります。

バッテリーの残量が残り少なくなると、プレーヤーの電源は自動的にオフになります。

プレーヤーの自動電源オン:

- プレーヤーの電源スイッチが“ON”位置にあるときに、PCのUSBポートに接続すると、自動的にプレーヤーの電源がオンになり、リムーバブルストレージのように動作します。このとき[MENU]ボタンを押すと他の動作モードに切り替わります。

## ■ ホールド機能

ホールド機能を有効にすると、すべてのボタンがロックされます。

ホールドオン(Hold): [A-B/REC]ボタンを3秒間押し続けると、ホールド機能が有効になります。

ホールドオフ(Unhold): [A-B/REC]ボタンを3秒間押し続けると、ホールド機能が解除されます。


## ■ 音楽/音声のボリューム調整

音楽ファイル・動画ファイル・音声ファイル・FMラジオの再生時、[MENU]ボタンを押して音量設定モードにし、[PREV]ボタンか[NEXT]ボタンで適宜音量の調節を行ってください。

**警告: 聴覚障害を防ぐために適正な音量でご利用ください。**

## ■ バッテリー

このプレーヤーはリチウムイオンバッテリーによって動作します。

- バッテリーアイコンはバッテリーの現在のレベルを示します。バッテリーの残量が少なくなると、空になったアイコンでバッテリー残量が少ないことを表示して、プレーヤーの電源が自動的にオフになります。
- PCにUSBケーブルで接続することによってバッテリーの充電を行うことができます。
- 付属のACアダプタを使用してコンセントから充電することもできます。
- 充電中のバッテリーアイコンは充電中の状態を示すために空から満充電になるアニメーションが繰り返し表示されます。充電が完了すると、いっぱいになったバッテリーアイコンが表示されます。
- バッテリーの再生時間は、ボリュームの設定や再生しているファイルのタイプ、再生モードなどによって異なります。
- [shut down settings menu]での設定により、プレーヤーはパワーセーブモードに入ります。
- スクリーンセーバーを有効にすることで、さらにバッテリーを有効に使うことができます。

## ■ メニュー間を移動する

- メインメニューに戻る：他のモード/メニューのときに[MENU]ボタンを押し続けてください。
- メニュー操作：[PREV]ボタンや[NEXT]ボタンで他のモードを選択してください。
- 設定を保存してメニューから抜ける：[MENU]ボタンを押すと設定が保存され、上の階層のメニューに移動します。

Movie モード：動画を再生します（“動画再生”セクションを参照してください）

音楽モード：音楽を再生します（“音楽再生”セクションを参照してください）

ゲーム：ゲームをプレーできます（“ゲームをプレーする”セクションを参照してください）

ラジオモード：FM ラジオを聴くことができます（“FM ラジオ”セクションを参照してください）

読者モード：テキストデータを読むことができます（“テキストブラウジング”セクションを参照してください）

TELBOOK モード：電話帳機能が利用できます（“電話帳”セクションを参照してください）

声のモード：録音した音声データを再生します（“音声再生”セクションを参照してください）

レコード・モード：音声を録音します（“ボイスレコーディング”セクションを参照してください）

JPG 視点：画像データを見ることができます（“ピクチャーブラウジング”セクションを参照してください）

システムセッ：システムの設定を行います（“機能設定”セクションを参照してください）

## ■ 動画再生

・このプレーヤーは AMV 形式(専用ファイルフォーマット)の動画再生をサポートします。同梱の CD-ROM に収録されている変換ツール(AMV Convert Tool)を使用して、.AVI、.MOV、.RMVB、および.VOB ファイルを.AMV ファイルに変換してください。

### ・再生 / 一時停止 / 停止

- 再生：ムービーモードに入り、[PLAY/STOP]ボタンを押すと、動画ファイルの再生が開始されます。
- 一時停止：ムービー再生中に[PLAY/STOP]ボタンを押すと、動画の再生が一時停止されます。もう一度押すと再生が再開されます。
- 停止：[PLAY/STOP]ボタンを押すと停止します。

### ・動画選択

- 動画再生中に[NEXT]ボタンを押すと次の動画ファイルが再生されます。[PREV]ボタンを押すと前の動画ファイルが再生されます。

## ■ 音楽再生

- ・再生 / 一時停止 / 停止
  - 再生：音楽モードを選択し、ヘッドホンプレーヤーに接続してください。再生したい曲のタイトルを選び、[PLAY/STOP] ボタンを押すと再生が開始されます。
  - 一時停止：[PLAY/STOP] ボタンを押すと、再生中の曲が一時停止します。もう一度押すと曲の再生が再開されます。
  - 停止：曲の再生中に[PLAY/STOP] ボタンを押すと、再生が停止されます。

### ・曲選択

- 音楽再生中に、次の曲を再生するには[NEXT] ボタンを押してください。[NEXT] ボタンを押し続けると早送りになります。
- 前の曲を再生するには[PREV] ボタンを押してください。[PREV] ボタンを押し続けると巻き戻しになります。

### ・音楽再生メニュー

- 音楽再生中に[MENU] メニューボタンを押すと“音楽再生メニュー”に入ります。[PREV] ボタンか[NEXT] ボタンを操作して項目を選択し、[MENU] ボタンを押してください。

#### 音楽再生メニュー：

- 音量設置
- 反復
- 等化モード
- 再生スピード
- リプレイ
- リプレー回数
- リプレーギャップ
- バック

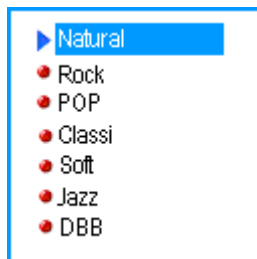
### ・反復

- 反復を選択し、以下の繰り返し方式の中からいずれかを選択します：

ノーマル	インデックス順に再生されます(反復なし)
シングル反復	再生中の曲のみを繰り返します
フォルダー再生	特定のフォルダ内の曲を再生します
フォルダー反復	選択したフォルダ内のすべての曲を繰り返し再生します
全曲リピート	全曲を繰り返し再生します
シャッフル	現在のフォルダ内の曲をランダムに再生します
選択再生	現在のフォルダ内の曲のイントロを 10 秒間再生します

## ・等化モード

- 等化モードを選択し、以下のモードの中からいずれかを選択します：



## ・再生スピード




- 再生スピードを選択してください。[PREV]ボタンか[NEXT]ボタンで再生スピードを設定します。0は標準再生速度を表しています。プラスの方向に移動させると再生速度が速くなります。マイナスの方向に移動させると再生速度が遅くなります。

## ・リプレイ

- A-B 間繰り返し
  - 音楽再生中に[MENU]を押して A-B 間繰り返しが選択されていることを確認してください。（または再生中に[A-B/REC]ボタンを押します。）曲再生中のアイコンが自動的に下図のように A-B 間繰り返しのアイコンに変化します。：



- “A- “アイコンが点滅した状態で表示されます。音楽を聴いて、反復開始位置（ポイント A）で[NEXT]ボタンを押してください。“A- “アイコンの点滅が止まり、左上の“B”アイコンが点滅を始めます。音楽を聴いて、反復終了位置（ポイント B）で[NEXT]ボタンを押してください。曲のポイント A とポイント B の間の部分が繰り返し再生されます。
- もう一度[PREV]ボタンを押すと A-B 間反復再生が解除され、再度ポイント A を選択するために “A- “ が点滅し始めます。

- ” Follow & Read “（このオプションは声のモードでは利用できません）
  - A-B 間繰り返しモード中に [NEXT]ボタンを押すと“Follow & Read”モードになり、A-B 間繰り返しアイコン  が“Follow & Read”アイコンに変化し  音声録音が可能になります。録音時間はA - B間で設定された時間と同じです。原曲が再生された後に、一度だけ録音することができます。アイコンが  に変化しているときに、[NEXT]ボタンを押すと“Compare”モードが開始されます。
  - [PREV]ボタンを押すと“A-B 間繰り返し”モードが再開されます。



- “Compare モード”（このオプションは声のモードでは利用できません）
  - A-B 間繰り返しモードで設定された原曲の後に“Follow & Read”モードで録音された音声再生し、両方を聞き比べることのできる機能です。原曲 (A-B 間)→録音音声のパターンが繰り返し再生されます。
  - このモードを終了するには[MENU]ボタンを押します。



- 再生回数メニュー
  - A-B 反復再生の再生回数を 1 から 10 回の幅で選択します。
- 再生ギャップメニュー
  - A-B 反復再生の間隔時間を 1 秒から 10 秒の幅で選択します。
- 歌詞
  - LRCフォーマットの歌詞をサポートしています。歌詞機能が有効になっていると、同じフォルダに音楽ファイルと同名のLRCファイルがあれば、自動的に歌詞が音楽に連動して表示されます。
  - [MENU]ボタンを押し続けると、歌詞が画面上に2秒間保持されます。

## ゲームをプレーする

- メインメニューから[MENU]ボタンを押して、ゲームモードを開始してください。
- [PREV]ボタンか[NEXT]ボタンでテトリス、パズルなどを選択してください。 [MENU]ボタンを押してゲームをプレイすることができます。

## FM ラジオ (内蔵モデルのみ)

### ■ FM ラジオを聴く

- メインメニューからラジオモードを開始します。あらかじめセットされている放送局から選択して放送を聴くことができます。  
※音声品質は電波の受信状態によって異なります。



- あらかじめセットされた放送局が1つ以上ある場合、[PLAY/STOP]ボタンを押して次の局を聴くことができます。また保存されているFMラジオ局が無い場合、[PREV]ボタンか[NEXT]ボタンを押し続けることで、手動でスキャンを行います。

### ■ オートスキャン

[PREV]ボタンか[NEXT]ボタンを2秒以上押すと、前後100KHzの帯域をスキャンし、放送局を発見すると止まります。[MENU]ボタンを2回押してスキャンされた放送局を保存します。 [PREV]ボタン、[NEXT]ボタンを押すとスキャンを続行します。また[PREV]ボタン、[NEXT]ボタンを押すとスキャンを停止します。

ノート:

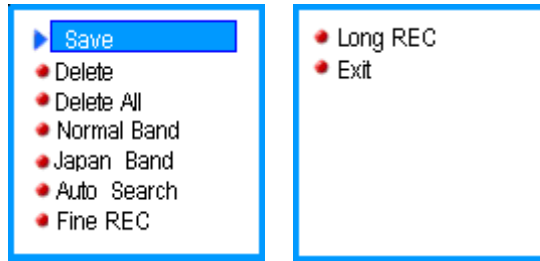
- 一般的な周波数帯域の20局分を保存することができます。

### ■ マニュアルスキャン

- [PREV]ボタンを押して前の局を探します。
- [NEXT]ボタンを押して次の局を探します。
- スキャンされた放送局を保存するには[MENU]ボタンを2回押します。

### ■ FM ラジオメニュー

- メインメニューから[MENU]ボタンを押して、“ラジオメニュー”を開始します。[PREV]ボタン、[NEXT]ボタンで操作し、[MENU]ボタンで選択します。



音量設置	再生音量を設定します
自動検索	放送局を自動でスキャンします
放送局保存	選択している放送局の周波数をプレーヤーに保存します
放送局削除	選択した保存されている放送局を削除します
オール削除	プレーヤーに保存されている放送局を削除します
アメリカ周波数	海外放送局の FM 波を受信します (87-108MHz)
日本周波数	日本国内の放送局の FM 波を受信します (76-90MHz)
良質録音	高音質で FM 放送を録音します
連続録音	標準音質で FM 放送を録音します
バック	

## テキストブラウジング

- テキスト文書を閲覧します
  - メインメニューから読者モードを開始させます
  - [PREV]ボタンか[NEXT]ボタンでテキスト文書を選択します
  - [PLAY/STOP]ボタンを押して、選択したテキスト文書の閲覧を開始します
  - 停止：[MENU]ボタンを押すとメインメニューに戻ります
- 文書管理メニュー
  - 文書閲覧中に、[MENU]ボタンを押すと“文書管理メニュー”に入ります。[PREV]ボタン、[NEXT]ボタンを操作して[MENU]ボタンで選択してください。

文書管理メニュー：  
 ローカルフォルダ  
 放送設定  
 ファイル削除  
 バック

- ローカルフォルダ
  - 開きたいフォルダを選択します

## ■ 放送設定

### ■ 自ら放送

- 文書は自動的に設定された速度で閲覧されていきます。閲覧する速度は任意で設定することができます。

### ■ 手動放送

- [PREV] ボタン、[NEXT] ボタンを押すことで、手動で文書のページをめくることができます。

## ■ ファイル削除

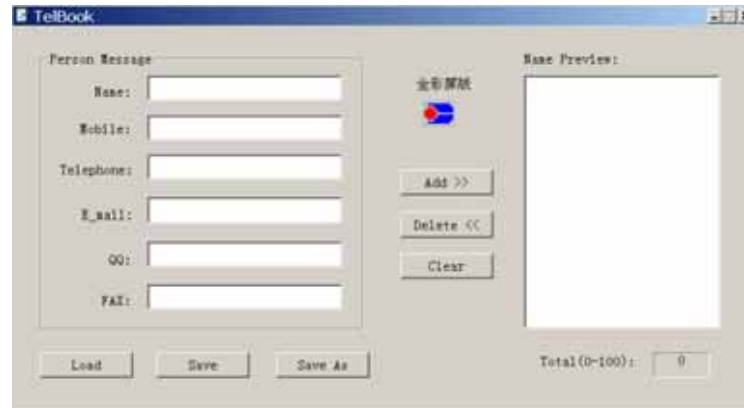
- [PREV] ボタン、[NEXT] ボタンで削除したいファイルを選んで[PLAY/STOP] ボタンを押します。

- ・バック                    削除せずに戻ります
- ・ファイル削除            選択したファイルのみを削除します
- ・オール削除              フォルダ内のすべてのファイルを削除します

## 電話帳

### ■ 電話帳を作成します

- 同梱されているソフトウェアツール(Telebook. exe)を使用して、連絡先を編集し連絡先テーブルに記入してください。



### ■ 電話帳データのインポートと利用

- メインメニューから電話帳メニューを開始します
- “輸入TEL” を選択し、編集した電話帳データをプレーヤーに取り込むと、プレーヤーで電話番号が検索できるようになります。
- 既存の電話帳データを失わないように、新しい電話帳をインポートする前に“輸出TEL” を選択してください。
- 電話帳の内容を閲覧するには“ブラウズのTEL” を選択します。

## 音声再生

- 録音した音声の再生
  - メインメニューから声のモードを開始します
  - 再生：[PLAY/STOP] ボタンを押すと再生が始まります
  - 一時停止：再生中に[PLAY/STOP] ボタンを押すと一時停止します。
  - 停止：[STOP] ボタンを押すと停止します
  
- 音声データの選択
  - 音声再生中に[NEXT] ボタンを押すと次の音声データが再生されます。[NEXT] ボタンを押したままにすると、早送りになります。
  - [PREV] ボタンを押すと前の音声データが再生されます。[PREV] ボタンを押したままにすると巻き戻しになります。
  
- 音声再生メニュー
  - 音声再生中に[MENU] ボタンを押すと、“音声再生メニュー”に入ります。 [PREV] ボタン、[NEXT] ボタンを操作して[MENU] ボタンで選択します。

音声再生メニュー：

- 音量設置
- 反復
- 再生スピード
- リプレイ
- バック

同様の操作の詳細イラストについては“音楽再生”セクションを参照してください。

ノート：

- A-B 間繰り返し機能の“Follow and Read”と“Compare”はこの機能では利用できません。

## ボイスレコーディング

- ボイスレコーディング
  - メインメニューから録音モードを開始します。
  - バッテリーとディスクの残り容量が適切かどうか確認してください。
  - [PLAY/STOP] ボタンを押して録音を開始します。
  - 録音中に[PLAY/STOP] ボタンを押すと、録音を中断します。
  - [PLAY/STOP] ボタンを押したままにすると、録音を停止します。
  - [MENU] ボタンを押したままにすると、録音されたデータを保存して、録音モードを終了します。

- 録音中は[PLAY/STOP]ボタンと[MENU]ボタンのみ操作が可能です。
- 停止中に[A-B/REC]ボタンを押すことで、直ちに録音が始まります。

#### ■ 録音メニュー

- 録音モード中に[MENU]ボタンを押すと“録音メニュー”に入ります。[PREV]ボタン、[NEXT]ボタンを操作して[MENU]ボタンで選択します。

#### ■ ローカルフォルダ

- 記録された音声データが保存されているフォルダを選択します。
- 各フォルダには最大 99 個の録音データを保存できます。
- 録音データは“stop recording menu / main menu”で設定されたフォルダに保存されます。
- フォルダがいっぱいになると、プレーヤに“Out of space”と表示されますので、ファイルを削除して、ディスク容量を確保してください。
- ファイルの数が 99 を超え、プレーヤに“directory is full”と表示されたら、他のフォルダに録音データを保存するようにしてください。

#### ■ 録音タイプ

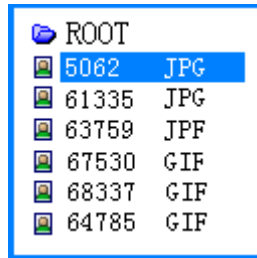
- 音質によって生成される録音音声ファイルが異なります。適切な録音方式を選択してください。:

良質録音	WAV 形式	高音質
連続録音	ACT 形式	標準音質
良質音声識別	WAV 形式	サウンドコントロール
連続音声識別	ACT 形式	サウンドコントロール

- 連続音声識別モードではプレーヤーは無音状態の時には録音を一時停止し、音声の有効になると録音を再開し、ディスクスペースを節約します。
- 背景の雑音が無い状況下での録音をおすすめします。
- プレーヤーが背景音に順応する 5~6 秒後から音声の録音を開始することをおすすめします。

## ピクチャブラウジング

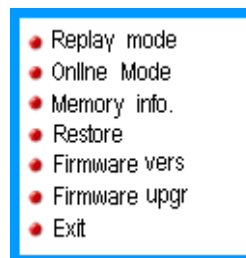
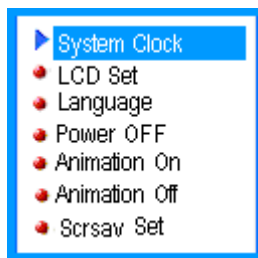
- 画像を閲覧する
  - メインメニューからJPG視点を開始します。



- [PREV] ボタン、[NEXT] ボタンで画像を選択します。
- [PLAY/STOP] ボタンを押すと選択した画像が表示されます。
- [MENU] ボタンを押すとメインメニューに戻ります。

## 機能設定

- 機能設定
  - メインメニューからシステムセッを開始します。[PREV] ボタン、[NEXT] ボタンを操作して、[MENU] ボタンで選択します。



- システムの時間
  - このオプションでは日時を設定します。
  - [PREV] ボタン、[NEXT] ボタンで“年”を調整します。[A-B/REC] ボタンを操作し“年”、“月”、“日”、“時”、“分”そして“秒”の各項目間を移動して同様に調整してください。設定を確認したら[MENU] ボタンを押して、機能設定モードに戻ります。
- スクリーン設置
  - ボタンを押した際に有効になるバックライト機能の発光時間を設定することができます。
  - [PREV] ボタン、[NEXT] ボタンで発光時間を調節できます。“0”はバックライトが有効でないことを表しています。[MENU] ボタンを押すと、機能設定モードに戻ります。
- 言語選択

- [PREV] ボタン、[NEXT] ボタンを操作して言語を選択してください。設定を確認して [MENU] ボタンを押します。
- **パワーオフ**
  - 操作イラストについては“バックライト”の項目を参照してください。
  - パワーセーブ：あらかじめ設定された時間(10分毎)、プレーヤが操作されなかった場合、自動的に電源が切れます。
  - スリープ：音楽、動画、音声の再生中に、あらかじめ設定された時間になると自動的に電源が切れます。
- **スタートアニメーション**
  - このオプションは起動時のアニメーションを設定します。
- **ScrSav セット**
  - このオプションは画面を保護し、バッテリー駆動時間を延ばすためのスクリーンセーバーを設定します。
  - ScrSav オフ：スクリーンセーバー機能をオフにします
  - ScrSav オン：スクリーンセーバー機能をオンにします
  - スクリーン保護の選択：スクリーンセーバーの種類を選択します
- **リプレイ**
  - A-B 間繰返し再生時のリプレイモード（自動または手動）を設定します。
- **オンライン**
  - 操作の手順については“リムーバブルディスクとして使う”セクションを参照してください。
  - Windows2000SP4 ではパーティション領域を分けられた USB ディスクストレージをサポートしていません。PC に接続した時に表示されるディスクドライブの種類を“マルチドライブ”“シングル”“ノーマル”から選択してください。
- **メモリ状態**
  - ディスクの合計容量と使用容量をパーセンテージで確認することができます。
- **工場の設定を回復**
  - プレーヤーの状態を工場出荷時の状態に戻します。
- **バージョン**
  - ファームウェアのバージョンを確認できます。
- **グランドアップ**

※ファームウェアのアップデートを行う機能です。

  - プレーヤーを PC に接続します。
  - システムセッティングメニューから“グランドアップ”を開始します。



- 同梱されているソフトウェアツール“MP3 Player Upgrade Tool”を起動し、指示に従ってアップグレードを開始します。その際、下記のように表示されます：
- パソコンの“マイコンピュータ”内に表示されている、リムーバブルディスクのアイコンを右クリックします。“フォーマット”を選択しリムーバブルディスクをフォーマットします (FAT システムを選択すること)。

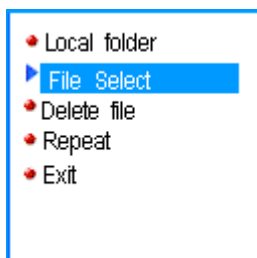
#### ノート：

- ファームウェアアップグレードはプレーヤーの品質を高めるためのオプションにすぎないため、プレーヤーが適切に動作している場合には必要ではありません。
- ファームウェアアップグレードはプレーヤーの不適切な動作を引き起こす可能性があります。ファームウェアアップグレードを実行する前には説明を慎重に読み、FAT システムでディスクフォーマットを行ってください。そうでない場合“ディスクエラー”が発生する場合があります。
- ファームウェアアップグレード後、プレーヤーが適切に動作しない場合は再度ファームウェアアップグレードの手順を行ってください。

#### 文書管理

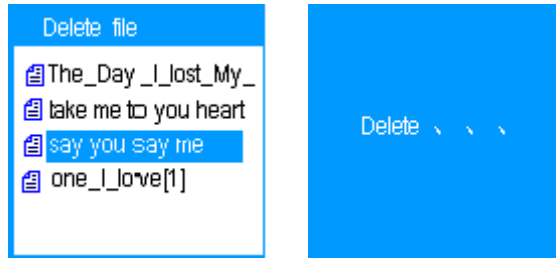
##### ■ 別フォルダの選択

- ユーザーはより簡単に音楽ファイルを管理するため別のフォルダにそれぞれ音楽ファイルを保存することができます。このプレーヤーでは最大9つまでのサブフォルダをサポートしています。
- 音楽ファイルまたは音声ファイルが再生されていないときに、[MENU]ボタンを押し“文書管理メニュー”を開始します。
- [PREV]ボタンまたは[NEXT]ボタンで操作したいフォルダが選択されていることを確認して[MENU]ボタンを押します。



■ ファイル削除

- 削除するファイルが選択されているかどうか確認し、[PREV] ボタンまたは [NEXT] ボタンで [YES] もしくは [NO] を選択します。



■ オール削除

- 現在のフォルダ内のすべてのファイルを削除するかを確認し、[PREV] ボタンもしくは [NEXT] ボタンで [YES] または [NO] を選択します。

ドライバソフトウェアのインストール

付属の CD を CD-ROM ドライブに挿入するとインストール画面が起動します(または手動で WIN98Driver フォルダ内の setup.exe を実行します)。[next] ボタンを押し、インストールの詳細を選択してから、[next] ボタンを押すとインストールが開始されます。インストールが完了したら [close] をクリックしてください。ドライバは“マイコンピュータ” → “Procedure” フォルダ → “MP3 Player Upgrade” の順でクリックすると見つけることができます。

リムーバブルディスクとして使用する

■ USB 大容量記憶装置

- PC に接続されると、プレーヤーは Windows98 (ドライバが必要)、Windows2000 またはそれ以上 (ドライバ不要)、MacOS X 10.3、LinuxRedhat 8.0 もしくはそれ以上でサポートされている標準的な USB ディスクのように動作します。
- プレーヤーが PC に接続されて待機状態にあるとき、バッテリーへの充電が開始されます。他の操作モードに移行するには [MENU] ボタンを押してください。



## ■ パスワード設定

- 同梱の CD-ROM に収録されている MP3 Player Disc Tool を使うことで、この機能を利用することができます。(PC 上からは 2 個のディスクドライブとして認識されます)。Windows2000 ユーザーはサービスパック 4 をインストールし、システムメニューから “common disk” / “protected disk” を選択してください。ユーザーは一方のディスクを保護するためにパスワードを設定することができます。正しいパスワードによるアクセスのみに制限されることで、ディスクの情報が保護されます。(大文字と小文字は区別されます。ご注意ください。)
- PC に接続し、PC のスタートメニューから MP3 Player Disc Tool を実行してください。“Partition and Encrypt” オプションを選択します。パスワードを設定する方のディスクに適切な記憶容量を割り当ててください。“Modify username and password” を選択し、キーボードでパスワードを入力してください。確認のためパスワードを再入力し、[start] をクリックするとディスクドライブのパーティショニングが開始され、完了すると 2 つのディスクドライブが表示されます。(Windows2000 SP4 の場合は 1 つのディスクドライブのみが表示されます)
- 保護されたドライブの中身を見るには、ドライブ内の “RdiskDecrypt.exe” を実行し、設定したユーザー名とパスワードを入力してください。

### ノート:

- プレーヤ上から保護されたフォルダ内のファイルを確認することはできません。
- PC に接続中、保護されたフォルダにアクセスするたびに毎回パスワードが必要になります。
- パーティションを分ける場合 (または結合する場合)、ディスクドライブ内のすべてのファイルは失われます。必要なファイルはこのオプションを実行する前にバックアップしてください。
- 設定したパスワードは確実に書き留めてください。パスワードを紛失してしまった場合、保護されたフォルダにアクセスすることができなくなります。

## ATC ファイルを WAV ファイルに変換する

同梱の CD-ROM に収録されている PC ソフトウェアツール “Sound Converter” を使用して、ATC 形式で録音されたファイルを WAV 形式に変換することができます。“Sound Converter” を起動し、“open” を選択して変換したい ATC ファイルを選んでください。[convert] をクリックすると変換が開始されます。

### ノート:

- このツールは WAV 形式、MP3 形式のファイルを変換することもできます。

## トラブルシューティング

プレーヤが正常に動作しない場合は以下の項目をご確認ください:

問題	考えられる原因
電源が入らない	バッテリーが空ではありませんか? 製品にキズがついたりしていませんか?
音楽が再生できない	バッテリーが空ではありませんか? ボタンを押したままになっていませんか? 音量が“0”に設定されていないか確認してください 再生しようとしているデータが壊れていないか確認してください ディスクドライブをフォーマットしてください(FATシステムで)
PCがプレーヤを認識しない/データのアップロード/ダウンロードができない	USBケーブルが確実に接続されているか確認してください ソフトウェアドライバを再インストールしてください
録音できない	バッテリーが空ではありませんか? 記憶容量がいっぱいになっていませんか?
言語表示がおかしい	適切な言語を選択してください

製品仕様

項目	仕様
液晶	128x128 ドット 65536 色カラーOLED ディスプレイ (MD041A) 128x128 ドット 65536 色カラー液晶ディスプレイ (MD041B)
言語	多言語対応
転送速度	USB 2.0 full speed (読み込み 1000K Byte/s, 書き込み 750K Byte/s)
ファイルフォーマット	音楽 : MPEG 1/2/2.5 Layer I/II/III, WMA, WMV, ASF, WAV 動画 : Proprietary .AMV 録音 : ACT, WAV
FM 周波数 (FM ラジオモデルのみ)	76MHz-96MHz / 87MHz-108MHz
S/N 比	85dB
ヘッドホン出力	(L) 10mW + (R) 10mW (32 ohm)
メモリ	内蔵 Flash メモリ
バッテリー	3.7V Li-ion バッテリー
駆動時間	音楽/音声 再生 : 約 7 時間* 動画再生 : 約 4 時間* 音声録音 : 約 8 時間* FM ラジオ : 約 8 時間*
動作温度	-5°C - 40°C
システム要件	Windows ME/2000/XP、Mac OS 10.3、Linux 2.4.2 または Windows 98 (ドライバインストールの詳細を参照してください)

\* 繰り返しご利用になることでバッテリーは徐々に消耗します。